

事務事業名 木次健康温泉センター維持管理事業		所属部 木次総合センター	所属課 事業管理課	
総合計画体系	政策名 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G 産業振興グループ	課長名 安部 哲男	
	施策名 (35)観光の振興	担当者名 細田 和正	電話番号 0854-40-1082 (内線) 4272	
	目的: 対象 市外の人 意図 A)雲南市を訪れてもらう。B)市内で消費してもらう。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 5 0 1 観光施設管理事業	項目 中事業 中事業名 0 5 2 0 1 1 木次健康温泉センター管理事業	
	基本事業名 (104)観光資源の開発・充実			
目的: 対象 市外の人 意図 市内で消費してもらう。				

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
当事業は、木次健康温泉センターおろち湯ったり館の管理にかかる事業である。平成18年度からは、木次都市開発㈱が指定管理者として管理運営を行っている。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動)	26年度計画(26年度に計画する主な活動)			
		①指定管理手続き②修繕・工事の執行③指定管理者との施設運営にかかる協議	25年度と同じ			
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	ア 入浴客数	人	111,398	107,067	115,230	116,000
	イ 修繕・工事費	千円	24,382	7,688	5,259	2,000
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	①雲南市民 ②市外来場者	ア 雲南市民人口	人	41,159	40,548	40,055	39,949
		イ 観光入込客数	千人	950	966	1,438	1,438
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
①心身の健康維持、増進を図る。(市民) ②観光を発展させ、地域経済に貢献する。(市民と市外来場者)	ア 入浴者数	人	111,398	107,067	115,230	116,000	
	イ 収入額(入浴料)	千円	43,683	41,207	44,928	45,000	
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)	
需用費(修繕費) 5,257千円 指定管理料12,371千円 使用・賃借料162千円 手数料137千円 備品購入費438千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
	事業費	地方債	千円				
		その他	千円	22,400	7,967	5,000	2,000
		一般財源	千円	13,821	12,479	13,365	13,171
		事業費計(A)	千円	36,221	20,446	18,365	15,171
	人件費	正規職員従事人数	人	3	2	2	
		延べ業務時間	時間	1,694	980	866	
		人件費計(B)	千円	6,678	3,840	3,371	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	42,899	24,286	21,736	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
温泉施設の衛生管理対策が厳しくなり、厳格な管理が必要となっている。オープンから10年以上が経過し、機器類の更新・修繕が増加している。高速開通に伴い利用者増加の兆しが見られる。	指定管理者である木次都市開発㈱と連携をとり、施設改修等を行い集客力維持に努めている。26年度においてバイオマス事業によるボイラー更新を予定している。	宴会営業に関しては、地元既存店より民間営業の圧迫との声がある。 指定管理者からは、施設・機器の早期修繕の要望がある。

事務事業名	木次健康温泉センター維持管理事業	所属部	木次総合センター	所属課	事業管理課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設の改修や新たなソフト施策により成果の向上(入浴客の増)は期待できる。尾道松江線島根側開通及び今後の全線開通により成果向上が期待できる。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	観光客、交流人口の減少に繋がる。市民の健康増進のための利用施設が減少する。併設されるサンワークきすきとの相乗効果が失われ、サンワークきすきの利用減少につながる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		木次勤労者総合福祉センター管理事業
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	隣接する木次勤労者総合福祉センターとは一体的に利用されることにより相乗効果がある。また市内の観光施設やトロッコ列車などの連携により成果の向上の可能性はある。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	入浴客が増加し収入が増えれば、指定管理料の減額に繋がる可能性がある。		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	指定管理者の修繕権限の見直しがあれば延べ業務時間は減らせる。		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	基本的には一律に入浴料金を徴収し、ほぼ同様のサービスを提供している。		
D 公平性	⑩ 評価の総括		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		H23風呂施設改修後は、一時的に利用客の増加となったものの、近隣に温泉施設がオープンし、多少影響があった。指定管理者による月1回の薬草湯はとも好評で平常時を上回る利用客があり、ソフト事業の充実が成果の向上に繋がる可能性がある。高速開通により、インターチェンジに近い当施設は成果の向上の可能性はある。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上		●																		
	維持		×																		
	低下	×	×																		
26年度バイオマス事業の導入により、機器の更新が可能となる。 今後の課題として10年以上経過した施設の大規模修繕や、その後の改修・改築をどのようにしていくか検討する必要がある。 高速開通による利用者をリピーターとすべく、施設の魅力や修繕など対策を行う必要がある。		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																			